

## 令和8年度 日本語学級の入級募集について

令和8年4月に日本語学級を区立小・中学校4校に新設することとしており、本年12月よりつぎのとおり入級募集を開始するので報告する。

### 1 目的

日本語指導が必要な児童生徒に対し、学校生活に必要な日本語や学習につながる日本語また、日本や外国の文化などを学ぶ機会を提供し、在籍校での学校生活を支援する。

### 2 対象

区立小・中学校に在籍し、海外から帰国した児童生徒及び外国人児童生徒など、「日本語での日常会話が十分にできない児童生徒」及び「日常会話ができても、学年相当の学習言語能力が不足し、学習活動への取組に支障が生じている児童生徒」とする。

### 3 設置校及び人数

#### (1) 設置校

①南台小学校 ②令和小学校 ③鷺の杜小学校 ④中野東中学校

#### (2) 人数

10名～15名程度

### 4 指導内容

次の内容から、アセスメントを基に個別の指導計画を作成して指導を行う。

#### (1) サバイバル日本語（学校生活に必要な日本語）

挨拶や教室内の物品名、健康・安全に関する語彙など、日常的なコミュニケーションに必要な日本語を習得する。自分の名前をひらがな・カタカナで書く練習や、掲示物の文字を理解する力などを育む。

#### (2) 日本語基礎（生活や学習に必要な日本語）

発音、文字・表記、語彙、文型などの基礎的な日本語を段階的に学ぶ。「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく育む。

#### (3) 技能別日本語

「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能のうちどれかに焦点を絞って日本語能力を育む。

#### (4) 総合的な言語能力

日本語学習と教科学習を統合したカリキュラムで、日本語と教科内容を同時に学び、社会生活や学習活動に役立つ力を育む。

#### (5) 教科の補充学習

在席学級での教科学習の内容を先行的又は復習的に学ぶ。

#### (6) 日本や諸外国の文化理解

日本の伝統的な文化や共に学ぶ児童生徒の母国の文化について児童生徒間の交流を通して互いに理解を深める。

## 5 指導回数・時間

児童生徒の実態に合わせて、週1～2日、1回2時間程度実施する。

## 6 指導形態

- (1) 設置校に在籍の児童生徒：決められた時間に取り出し指導を受ける。
- (2) 設置校以外に在籍の児童生徒：決められた時間に設置校へ通学し、指導を受ける。

## 7 指導方法

児童生徒の実態と学習内容等に応じて次の指導方法を選択する。

- (1) 1対1の個別指導（基礎的な日本語指導を中心とする）
- (2) 1対数人のグループ指導（教科の学習を中心とする）

## 8 入級までの流れ

- (1) 対象となる児童生徒の保護者は、在籍校に入級の希望を伝える。
- (2) 設置校長は、入級の可否を判断し、教育委員会へ報告する。
- (3) 教育委員会は、申請のあった児童生徒の保護者へ結果を通知する。

## 9 保護者への配布書類

別紙(1)(2)を参照する。

- (1) 入級案内文：「日本語・多文化共生学級（グローバルクラス）入級募集のお知らせ」
- (2) パンフレット：「Welcome to Japanese Language Support at Nakano Public School」

## 10 今後の予定

令和7年12月初旬	入級募集開始
令和8年 1月下旬	入級者決定
2月	保護者へ通知
4月	指導開始